

リーダーのためのリベラルアーツ講座

「人間力」「大局的経営観」の醸成

目指すゴール

- 哲学・歴史・思想等に触れて、ものの見方・考え方を豊かにし「人間力」を磨きます。
- 他社・他者との対話や思考の鍛錬を通じて、「大局的経営観」を醸成します。

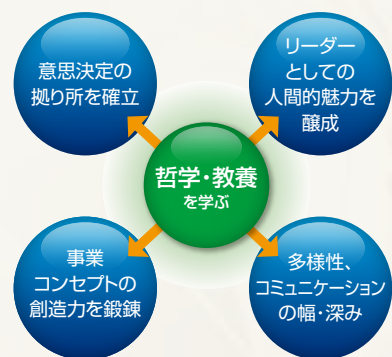
特長

1 「人間力」「大局的経営観」の醸成

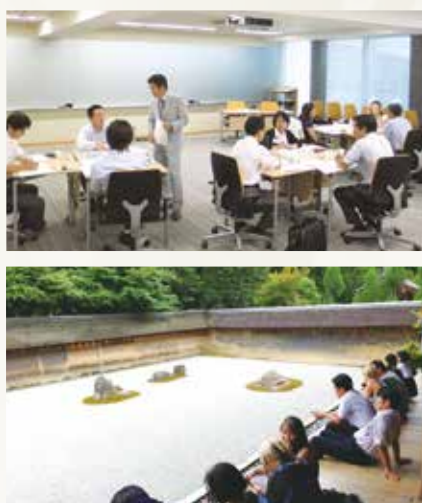
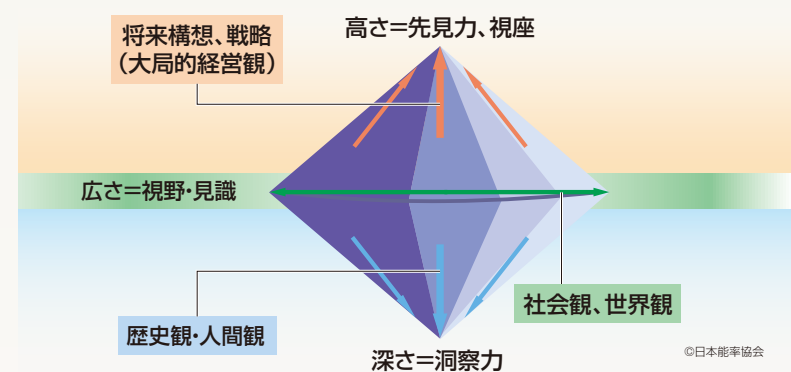
文化・歴史・哲学・国際社会などの各分野における第一人者、実務家、経営者を講師として迎えます。講義・対話を通じて、視野・見識を広げるとともに、物事の本質や普遍性に対する洞察力を磨くことによって、リーダーに必要な「人間力」「大局的経営観」を醸成します。

2 実践への展開

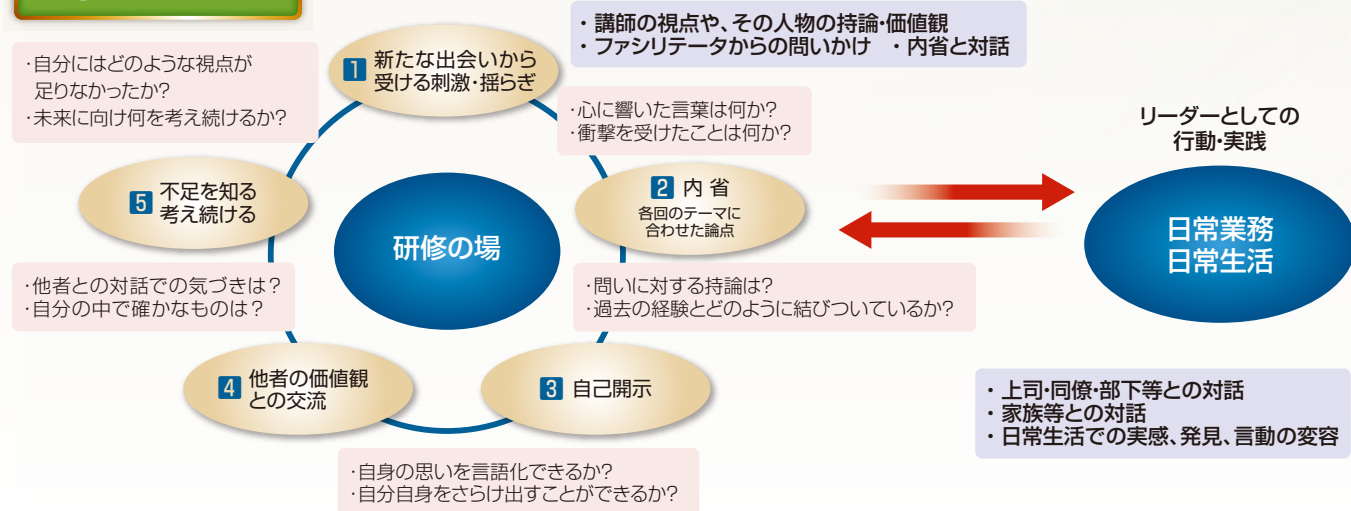
各回のテーマの探求を通じて、「自社のビジネスや仕事のあり方を振り返る」「意思決定の質を高める」「グローバルビジネスで役に立つ」等、実務への展開も考えます。



■「大局的経営観」＝「深い洞察力」×「視野・見識の広さ」



学びのサイクル



プログラム概要(2017年度)

単位	開催月	プログラム(全6回・7日間)		
		セッションテーマ	事前課題	ディスカッションテーマ(例)
1	9月6日(水) 1日・東京	●「リベラルアーツを学ぶ意義」 ●「哲学」	経営者講演	●リベラルアーツを学ぶことで何がかわるか ●哲学的思考法とは
2	10月4日(水) 1日・東京	●「宗教・社会」	事前課題	●判断するうえでの宗教的確信は何か ●宗教の普遍性
3	11月 1日(水)～2日(木) 2日間・京都合宿	●「日本文化」 ●「日本人の価値観」「歴史」	施設訪問	●日本文化の原点 ●日本人のアイデンティティとは
4	11月11日(土) 1日・東京	●「国際社会」	事前課題	●国際社会で求められているものは何か ●ルールメーカーになるには
5	12月7日(木) 1日・東京	●「人間観」「倫理観」	施設訪問	●道徳と経済の関係性は ●リーダーの拠り所は
6	12月15日(金) 1日・東京	●「大局観」	個人発表 経営者講演	●リーダーとして何をすべきか

※日程・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

講師(敬称略)

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 西 研 東京医科大学 哲学教室 教授 | 藤井 敏彦 独立行政法人経済産業研究所 コンサルティングフェロー |
| 晴佐久 昌英 カトリック浅草・上野教会 主任司祭 | 田中 一弘 一橋大学大学院 商学研究科 教授 |
| 山折 哲雄 国際日本文化研究センター 名誉教授、宗教学者 | 矢野 弘典 元中日本高速道路株式会社 会長、CRT-JAPAN 会長 |
| 佐々木 丞平 京都国立博物館 館長 | ほか |

◎ファシリテータ

石田 寛 経済人コー円卓会議日本委員会(CRT-JAPAN)事務局長、九州大学大学院 経済学府 客員教授

概要

- 会期 2017年9月～12月 全6回 計7日間(合宿1泊2日含む)
- 定員 24名(1社4名まで)
- 対象者
 - ・将来の経営幹部候補者 ・海外赴任予定者
 - ・国内外に関わらずビジネスリーダーとして活躍が期待される方々
 - ・リベラルアーツについて関心のある部長～課長層の方々
 - ・物事の本質を見抜き、実務に応用したいと考えている方々

参加企業(一部抜粋) ※会社名50音順

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ・味の素(株) | ・天星製油(株) |
| ・(株)アドヴィックス | ・東京地下鉄(株) |
| ・イオン(株) | ・トッパン・フォームズ(株) |
| ・NECフィールディング(株) | ・トヨタ自動車(株) |
| ・エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株) | ・西日本鉄道(株) |
| ・大阪ガス(株) | ・(株)ニチレイフーズ |
| ・コクヨ(株) | ・日本たばこ産業(株) |
| ・コーニングインターナショナル(株) | ・日置電機(株) |
| ・サッポロホールディングス(株) | ・マツダ(株) |
| ・サントリーウエルネス(株) | ・(株)三越伊勢丹ホールディングス |
| ・全日本空輸(株) | ・ヤマハ発動機(株) |
| ・武田薬品工業(株) | |

受講者の声



武井 浩昭氏
全日本空輸株式会社 人財戦略室 労政部
労政第一チーム リーダー (所属・役職 2015年度ご参加当時)

初めは何をどう学ぶのか、参加しながら模索するような状態でした。それぞれのテーマについての知識や理解も乏しいことから参加への不安もありました。ただ、自分自身であれば「仕事観」、企業活動をしていく上では「経営観」を定めていくのに必要な要素であることは分かっていたので、それらが少しでも見えてくるといいな、という期待はありました。

インタビューの続きは
ホームページをご覧ください。

JMI

検索